

この度の西ノ島町長選挙において、多くの方々のご支援を賜り、三期目の町政を担わせていただくこととなりました。

今一度、初心にかえり「公平と誠実」を信条とし、熱い情熱と行動力をもって「夢と笑顔のあふれるまちづくり」を目指して取り組んでまいります。

8年前の就任以来、地域産業の活性化や保健・医療・福祉の充実などを重要課題として取り組みを進め、人口の社会動態がプラスに転じたことや合計特殊出生率が近年は県平均を上回っていることなど、徐々に成果も出てきております。

しかしながら、まだまだ課題も多く、引き続き、基幹産業の振興を中心とする「**地域産業の活性化**」、安心して暮らせる「**保健・医療・福祉の充実**」を重要課題として取り組んでまいります。

また、町の将来を担う人材を育てて行くための「**教育の充実**」も重要課題に加え、力を注いでまいります。

はじめに、一つ目の柱である「**地域産業の活性化**」についてであります。

地域産業の活性化を図るうえで、漁業・畜産・観光の振興は最も重要な要素であり、この基幹産業の発展こそが、地域の活性化や雇用の場の創出に大きく影響を与えるものと考えております。

恵まれた自然環境や豊かな農林水産物を最大限に活用し、特産品の開発、ブランド化等に取り組むとともに、地産地消の推進や担い手育成など、地場産業の振興を図ってまいります。

また、昨年、設立された「A級グルメのまち連合」の一員として、目指すべき方向性や具体的な取り組みを明確にし、地域に人を呼び込む方策に繋げてまいります。

次に、二つ目の柱となる「**保健・医療・福祉の充実**」についてであります。

保健関係では、健康寿命をのばすことが大きな目標であり、将来を担う子どもや若者、働き盛りの青壮年期の健康づくり、介護予防、高齢者の生きがいづくりなど、いきいきと生涯現役の実現を目指した取り組みを推進してまいります。

医療関係につきましては、中核となる隠岐島前病院を中心とした医療体制の充実が重要であります。

医師や看護師はもとより、運営に関わる労働力の確保に努め、信頼される医療体制の構築を目指してまいります。

福祉関係では、子育て世代の経済的負担の軽減や仕事と育児の両立に資する施設整備、支援策を展開してまいりました。

引き続き、子育て世代を包括的に支援する体制を整え、妊娠から出産・子育てまで、切れ目のない支援の充実に努めてまいります。

また、高齢者や障がい者に対しては、住み慣れたまちで、安心して生活が送れるよう、在宅サービスや施設サービスの充実に努めることとし、施設の改修や人材の確保等に、関係機関と連携して取り組んでまいります。

次に、三つ目の柱となる「教育の充実」についてであります。

小中一体型校舎やコミュニティ図書館の整備など、ハード面における教育環境は、大きく向上いたしました。

今後は、子ども達の「学力向上」とUターンに繋がる「ふるさと教育」の推進に重点を置きたいと考えております。

「地域づくり」は「人づくり」と言われるように、まちの将来を担う人材を育てて行くことは、大変、重要でありますので、学校や家庭をはじめ、地域、行政が連携して教育の充実に取り組んでまいります。

地域の振興や定住促進を図る上で、離島航路における費用の負担軽減は大きな課題でありましたが、一昨年の有人国境離島法の施行により、島民運賃の低廉化や物資の輸送コスト軽減など大きな前進が見られました。

さらには、滞在型観光の促進や雇用機会拡充に係る助成も新たに制度化されるなど、徐々に環境整備は進んでおりますが、まだまだ十分とは言えません。

有人国境離島としての意義を再認識し、島根県や隠岐4町村と連携して、さらなる制度の拡充を積極的に働きかけてまいります。

近年の大型公共施設の整備改修や、現在進めている新庁舎の建設など、町財政に係る公債費の増大は避けて通れない状況ではありますが、重点項目を中心に事業の取捨選択を行いながら、町政運営を進めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。